



# ナンバーフロア

## ゲームのルール

プレイヤー：2~5人  
 年齢：4歳以上、6歳以上、  
 8歳以上  
 時間：15~30分

入っているもの  
 ・フロアカード 60枚  
 ・バルーンカード 34枚  
 ・スターカード 14枚  
 ・ルールブックレット(英語)

ビデオの説明(英語)：[www.thebrainyband.com](http://www.thebrainyband.com)



マジックハウスの階を上下にスキップして、プレイヤーは10以上の数の足し算と引き算と同様に、簡単に数線について多くを学びましょう！

**ゲームの目的** 床を飛び、星を集めよう！

**勝者** 星を5つ(2~3人の場合)または3つ(4~5人の場合)を集めたら勝ちです。



### 基本バージョン(8歳以上)

#### 準備

フロアカードとバルーンカードを使います。このレベルでは、左下に青いマークが付いている6枚のバルーンカードは使いません。フロアカードとバルーンカードを一緒にシャッフルし、各プレイヤーに6枚のカードを配ります。フロアカードを持っていないプレイヤーがいた場合、配り直します。山から2枚のカードを取って、それらを真ん中に置きます：フロアカードとバルーンカードになるようにします。最年少のプレイヤーから始めます。時計回りに交代していきます。



#### 遊び方

ゴールは、バルーンカードを使いながら、できるだけ多くのフロアカードを出すことです。自分の番の間、何枚でもカードを出すことができます。(最低でも1枚のフロアカードを使わなければなりません。)

出すカードがない場合、あなたは山から2枚のカードを取り、もう一度挑戦します。2枚のカードを取っても出せない(または出したくない)場合は、「パス」ができます。

#### ルール

フロアカードの上に、次のものを出せます。

- 1.一番上のフロアカードと同じ番号のフロアカード。たとえば、1のカードの上に1のカード。
  - 2.バルーンカードに対応するフロアカ数の上下にあるフロアカード。たとえば、1番上のフロアカードが5でバルーンカードが3の場合、フロアカード2またはフロアカード8( $5 - 3 = 2$  または  $5 + 3 = 8$ )。
- 自分の番の間、いつでもバルーンカードの上に好きなバルーンカードを出すことができます。フロアカードとバルーンカードを好きな順番で出すことができます。複数のフロアカードまたはバルーンカードを一列に並べることができます。ただし、自分の番の間、少なくとも1枚のフロアカードを出す必要があります。

**例**  
 3のフロアカードと2のバルーンカードが開いている場合、5のフロアカードを出せます。(3+2) 続いて、7のフロアカード(5+2)、9のフロアカードを出せます。(7+2) さらに、3のバルーンカードを出せば、6のフロアカードを出し(9-3) 3のフロアカードを出せます。(6-3)。  
 すべてのフロアカードを出した場合、自分の番を終わらせるために残りのバルーンカードをすべて出す必要があります。どのバルーンカードを1番上にして出すかは選べます。すべてのカードを出し終わった場合、星を手に入れ、山から6枚の新しいカードを取り、次の人に交代します。

## 重要！

### 1) 9以上・0以下は？

フロアからフロアへ移動するにつれて、10は脳内で追加・削除してください。1の位の数字を見ます。9階から2階上に移動すると、11階になります。これを表すには、フロアカード1を使います。フロアカードが0で、3階下の場合、10階と考えて7階に下ります。つまり、Numberloorのフロアカード2は2階または12階を意味し、フロアカード0は0階または10階のどちらかになります。



### 2) スペシャルカード

#### ・ナイトフロアカード

自分の番の間、このカードをフロアカードとして使うことができます。また、このカードは自分の番ではない時にも出すことができます。ただし、フロアカードとバルーンカードの両方に適する場合だけです。カードを出して自分の番になった場合、ゲームは通常の方法で続けます。

#### ・バルーンカード「最寄のフロア」

このカードがバルーンカードの一番上にある間、フロアカードと同じ数、あるいは1階か2階の上下にすることができます。たとえば、フロアカード5が開いている場合、フロアカード3、4、5、6、7を使えます。

#### ・バルーンカード「奇数/偶数フロア」

このカードがバルーンカードの一番上にある間、すべての奇妙/偶数のフロアカードを出すことができます。

#### ・バルーンカード「スキップ」

このカードをバルーンカードの一番上に置いた場合、次のプレイヤーは山から2枚のカードを取り、自分の番をスキップしなければなりません。また、このカードが一番上にある間は、一番上のフロアカードと同じ番号のフロアカードしかプレイできません。



## ゲームの他のバージョン

### 中級レベル（6歳以上）

#### 遊び方

このバージョンでは、プレイヤーは3階まで足したり、引いたりします。その他のルールは基本バージョンと同じです。隅に赤いマークが付いているカードをすべて取り除きます。このレベルにはナイトフロアカードが存在しないため、全プレイヤーは追い越すことなく順番にプレイします。



### 初級レベル（4歳以上）

#### 遊び方

バルーンカードとナイトフロアカードを使わずに行います。フロアカードをシャッフルし、各プレイヤーに6枚のカードを配り、2枚のフロアカードをテーブルの中央に置きます。最年少のプレイヤーから始めます。ゲームは時計回りに進みます。

自分の番が来たら、同じ番号または隣の番号のフロアカードを何枚でも出すことができます。たとえば、4の上には3、4、5を出します。

出せるカードがない（または出したくない）場合は、「パス」と言って山からカードを2枚取ります。そして次のプレイヤーの番になります。0のカードの場合、出せるカードは1または9です。

自分のカードがなくなった場合、星を手に入れ、山から6枚の新しいカードを取ることができます。次のプレイヤーの番になります。山がなくなったら、出されたカードをシャッフルし直して使います。